

コロナ陽性者のその後のケア： デイサービスの対応事例

老人デイサービスセンター福楽園

係長	織田 英樹(生活相談員)
主任	平井 美香(生活相談員)

福楽園(老人デイサービスセンター福楽園)概要



家庭的で温もりあるケアが、
安心と信頼を育みます。

自然豊かな地域(あきる野市網代)に平成11年5月に開設された特別養護老人ホーム福楽園に併設されたデイサービスです

1日通所定員：40名
(年中無休、365日休まず営業)

職員体制：	センター長	1名
	介護職	9名
	業務職 (運転等)	7名
	看護師	2名
	相談員	2名
	(ローテーション勤務)	

PCR検査 職員は毎週実施

通所利用者の熱発確認～再開までの14日間

▶ 利用者紹介

A氏 女性 88歳

既往歴 アルツハイマー型認知症 脳動脈瘤 難聴

要介護1 ケアハウス（軽費老人ホーム）入居

8月より介護保険サービス開始

週2回（火・木にデイサービス福楽園利用）

週2回（火・木に訪問介護利用 デイ送り出し）

週2回（水・金に半日型デイサービス、午後利用）

1日目 【8月19日（木）】

送迎時検温、体調確認で特に異常なし（送迎車乗車前）

センター到着後の検温 38.3度（体熱感あり）

表情に活気なく、咳・声がれあり。

少し息苦しい様子で肩呼吸（SpO2 99% P69）

本人から「帰りたい」との声

※他の利用者と離れたところで待機

⇒ケアハウス・ケアマネージャー・長女に連絡し早帰りの調整

11:00 送迎車にて帰宅（ケアハウス）帰宅前検温38.2度

（帰宅時、センターで用意した抗原検査キットを渡す）

12:50 抗原検査キット使用も判断つかず、かかりつけ医は休み

（他の医療機関と調整中）熱は37度台に下がり

今は長女宅にいとケアマネより連絡が来る

※その後、A氏は市外病院に入院となる

- ▶ 18 : 0 0 頃 市内のクリニックにて抗原検査 陽性
- ▶ 2 1 : 0 0 過ぎ 管理者（センター長）へ陽性の報告が来る
⇒翌日のセンターの臨時休業を決定する
- ▶ 2 2 : 0 0 過ぎ 管理者より連絡
デイ相談員・デイ介護係長・栄養調理係長

2日目 【8月20日（金）】

感染判明後の職員の対応

- ▶ **相談員** ⇒ 居宅支援事業所に臨時休業の連絡
- ▶ **相談員・介護主任**⇒ 通所利用者へ本日のデイサービス中止の連絡
- ▶ **介護係・業務係**⇒ 施設内及び送迎車消毒の指示 （マスク・手袋着用にて）
（職員玄関・更衣室・デイルーム・浴室・食堂・送迎車他）

- ▶ **管理者**⇒ あきる野市役所介護保険係へ陽性者発生の連絡
 - * 職員・利用者のPCR検査について確認
（利用者に関しては施設職員が訪問、採取し医療機関に提出）
- ▶ ⇒ 保健所に連絡
（医療機関から発生の連絡がないと対応できないとの事で利用者名のみ報告）
その後、保健所から連絡あり。デイサービスの1日流れ、利用者A氏の状況のヒヤリングあり、検討しますとの事
またA氏が通所した8 / 1 7 ・ 1 9日の通所利用者名簿、当日の職員、フロアマップの提出指示あり

▶保健所より

▶発症日：8月17日（火）

▶濃厚接触者：8月17日のみ

▶ ①利用者10名（昼食・おやつ・入浴時脱衣所で一緒）

▶ ②職員4名（入浴介助を実施）

▶ 熱発を確認した19日はマスク外した状態で接した者が
いない為、**濃厚接触者の該当者なし**

▶ 連絡を受け⇒利用者10名は**14日間サービス利用中止**
職員4名は**自宅待機**とする

- ▶ 管理者⇒あきる野市役所介護保険係に保健所からの連絡を報告
本日出勤者12名の職員のPCR検査希望、調整を依頼
⇒ 8 / 20 Aクリニックにて受け入れOKにてPCR検査実施
- ▶ ⇒8月31日（火）までデイサービス休業決定
職員PCR検査・利用者のPCR検査等の対応により
適切なサービス提供が行えない可能性を踏まえ
休業を決定する
- ▶ 相談員・介護主任⇒居宅介護事業所、利用者に31日まで休業
の旨連絡

3日目 【8月21日（土）】

- ▶ Aクリニックより昨日に実施した職員12名のPCR検査結果連絡あり
11名は**陰性** 1名は**判定不能**
(未実施の職員に関しても週明け23日（市役所と調整する）)

3日目～4日目 【8月21日（土）～22日（日）】

土日は市役所が休みの為、調整できず

5日目 【8月23日（月）】

あきる野市役所と調整し、PCR検査未実施の職員10名（判定不能も含む）
をB病院にて実施

管理者⇒利用者の濃厚接触者10名のPCR検査についてあきる野市と調整し
申請書を提出する

今回のPCR検査手続きについて

- ▶ 濃厚接触利用者のPCR検査を1日でも早く進めていきたい状況であったが、利用者宅に検体採取に伺う職員の感染状況確認しないまま対応することで、ご本人やご家族に感染リスクの不安を募らせてしまったり、万一、対応した職員が「陽性」だった場合、更なる感染拡大に繋げてしまう恐れがある為、まずは職員のPCR検査手続きを行い、それと同時に「職員が濃厚接触利用者宅に伺い検体採取するPCR検査」の申請手続きを進め、職員の「陰性」が確認でき次第、すみやかに対応できるよう調整を進めていた。

6日目 【8月24日（火）】

- ▶ 昨日に実施した職員10名のPCR検査 陰性を確認する

7日目 【8月25日（水）】

- ▶ 利用者家族より問い合わせ

「PCR検査はまだ受けられないか」

- ▶ 申請手続き中のC病院に10名のPCR検査対応は

「いつ対応可能になるのか？」確認する

⇒カルテ作成が来週、それ以降の対応と返答あり。

すぐに対応できないことがわかった為、**手続きをキャンセル**

- ▶ すぐに市役所健康福祉部健康課予防推進係に連絡、状況を説明し

早急に対応できる医療機関の手配を依頼【Aクリニック、
Dクリニック・Eクリニックにて対応可と連絡あり】

⇒本日2名、26日4名、27日3名のPCR検査を医療機関を手配

- ▶ 相談員⇒利用者家族に連絡し医療機関送迎の調整の対応行う

7日目～9日目【8月25日（水）～27日（金）】

▶ 医療機関への送迎

運転手、付き添い職員の2名で濃厚接触利用者1～2名の送迎を実施

▶ 8月28日（土）までに順次各医療機関から「陰性」結果の報告あり

10日目～11日目【8月28日（土）～29（日）】

管理者⇒濃厚接触者・職員の陰性確認、健康観察期間（8月17日～14日間）

も終了するため9月1日（水）より再開の指示

相談員⇒本日から利用者・家族に9月1日からの営業再開の連絡

12日目～13日目【8月30日（月）～31日（火）】

管理者⇒市役所介護保険係へ9月1日から営業再開の旨、報告

相談員⇒居宅支援事業所に9月1日から営業再開の連絡

14日目【9月1日（水）】

営業再開となる

対応時困ったこと

▶ ①土日は行政対応がストップする

金曜日から感染判明後の対応を開始したが土日の行政手続きはできない。

家族は一刻も早い手続きを希望

▶ ②電話対応

- ・濃厚接触者の同日利用の家族・ケアマネージャーから

「濃厚接触者ではないか」との問い合わせ

- ・濃厚接触者の家族から「早く検査を受けられないか」「買い物ができない・・・どうすればいい」「家族も検査をしてほしい」

「孫に感染したら・」

- ・ケアマネージャーから「食事の配達希望」

▶ ③濃厚接触者のPCR検査について申請手続きから実施まで時間を要すること

▶ ④A氏入居のケアハウス職員が陽性（接触は無しと判明）

▶ ⑤**他の施設と比較**

「濃厚接触者以外でもPCR検査をしてくれたが、しないのか」

▶ ⑥**キーパーソン以外**の濃厚接触者の家族への対応に疲弊
家族間でコミュニケーションが取れていないため、状況を把握できていなかった。



苦情やSNSで流してやるなど脅迫に近いことまでエスカレート
会社に休んでいる理由を電話しろと強要
唾液の検査だけがPCR検査で鼻咽頭からの検査は抗原検査だと
強く主張。終始、高圧的な態度で一方的な要求が聞かれた
（施設で費用を出してでもPCR検査をすぐにしろ）

利用再開に向け病院との見解の相違（ケアマネからの情報）

入院中の市外病院より

- ▶ ①**症状が改善すれば2週間で退院**
 - ▶ ②**退院前のPCR検査はしない**
（排菌期間は終了しており中には陽性と出続けることもある為）
 - ▶ ③**陰性確認が必要なら患者は何もサービスを使えなくなる**
- ※行政は福祉はどう考えているのか？

患者を差別しないでほしい

介護事業所・ケアハウスの見解

- ▶ 利用再開は各事業所の判断基準に基づく対応となっている
- ▶ ⇒利用再開前にPCR検査で陰性を確認してほしい
- ▶ ⇒ケアハウスは受け入れられるか判断しかねていた

福祉としての見解の統一が必要！！

終わりに（第6波に備えて）

- 1】 **土日、祝日や年末年始**の行政・医療機関の対応が進められない時に
事業所としてどのように対応すればよいか
⇒ **平日以外の対応を明確**にしておく（行政の緊急連絡先の把握、
休日、年末年始等の医療機関の把握他）

- 2】 **濃厚接触者の家族の日常生活**について
身近で確認できる環境づくり
⇒ 身近で確認できるものを作成（リーフレット等）
⇒ 市のホームページや広報での啓示の依頼

3】近隣の**市町村との連携**について（日の出町の居宅支援事業所から問い合わせあり）

現状・・・あきる野市内の事業者間は一斉メールで対応可能

⇒**近隣の事業所間の連携及び情報伝達**が必要

4】自身のコロナ感染症への知識が乏しい事、保健所からの指示や情報が出ていたより少なく、質問や不安な気持ちにきちんと答えを返せなかった

⇒コロナへの**知識**を深める（Web研修参加、施設内での勉強会実施）

⇒地域との**連携及び資源の活用**（感染認定看護師に相談、医師に相談）

終わりに

- ▶ 保健所とのやり取りは、①**発症日の特定**②**濃厚接触者の特定**③**有症状がでたら連絡を下さい**の3点のみであった。
(保健所から営業の中止や再開について、医療機関の受診等の指示はもらえず、また介入もなかった)
- ▶ あきる野市役所の介護保険係の担当者とのやり取りで対応がスムーズに進めることができました。
医療機関、各サービス事業者の皆様のご理解、ご協力をいただきありがとうございました。
皆様に感謝いたします。

ご清聴ありがとうございました

